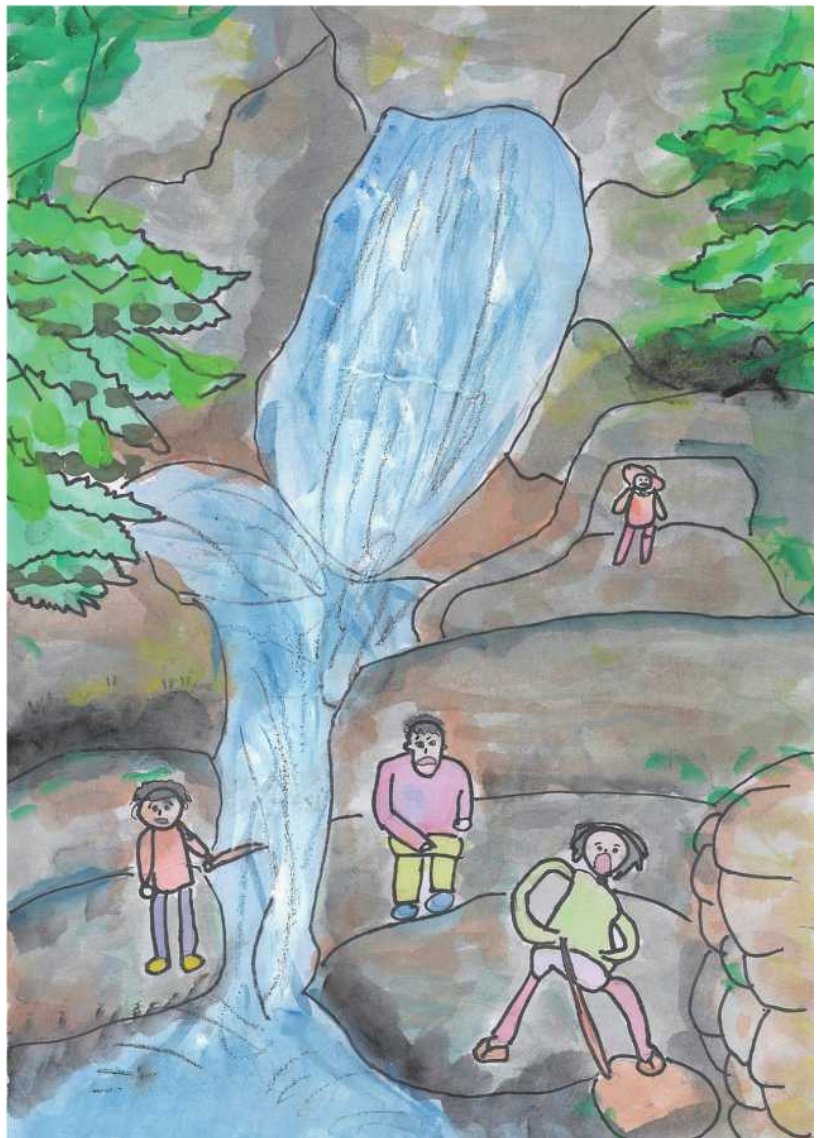


## 第8章

# 町民主体の景観まちづくり活動の 展開に向けて（提案）



「たきって楽しい」 真木小学校5年 深見 翔 さん

## 第8章 町民主体の景観まちづくり活動の展開に向けて（提案）

良好な景観形成は、景観法や町の自主条例に基づく運用を役場が中心となっていくだけでは成し得ることができません。町民が主体となった景観まちづくりへの意識が高まり、地域の景観を自分たちで守り育てていくという活動が少しずつ花開き、まちづくりとしての実を結ぶ（実体化する）ことが望ましい姿であると言えます。

ここでは、添田町らしい景観形成に結び付く展開例をいくつか提案します。今後の町民主体の景観まちづくり活動の実践に役立ててください。

### 1) 担い手育成のための「ふるさと景観教育」の取り組み

若者世代、子どもたち世代が、添田町の自然・歴史・文化の大切さを認識し、伝統の継承や添田町らしい景観への意識向上のため、町民・事業者を対象とした景観セミナーや学校教育を通じて景観学習などに取り組むことが有効です。

体験型の内容を盛り込むことで景観を楽しく身近に感じることができるようになります。

#### 例：「私たちの校区のおすすめ風景」の実施



【出典：柳川市,柳川市景観計画 [改訂版](令和4年)】

子どもたちが、自分の住む地域の風景の中から「〇〇らしい風景」を家族と一緒に考え、それを絵に表現することを通して、身近な風景の大切さに気づき、時代や季節による様々な変化を意識するようになります。

## 2) 「みんなで歩こう」景観フットパスの展開

協働による景観まちづくりの促進を図るため、誰もが分かりやすく、楽しみながら参加でき、また活動の成果が目に見える形になるプロジェクトとして、『「みんなで歩こう」景観フットパス』に取り組むことが有効です。

本町では、英彦山登山道や岩石山登山道、九州自然歩道といった既存のルートが多数あり、多くの町民や観光客、登山客に親しまれています。また民間企業・団体によるウォーキングイベント等も行われています。

このようなまち歩きは地域の魅力の再発見や、景観に対する意識向上にも効果的であり、観光への波及効果も期待されます。



景観フットパス実施例

### 3) 添田町らしい景観を活用した景観まちづくりへの取り組み（提案）

第2章で挙げた添田町を代表する景観24件の中から、特に「添田町らしい」と思われているものを選定し、例えば「添田町八景」等のわかりやすい名称をつけ、それぞれ特徴的な景観まちづくりを行うことは、添田町らしい景観を保全し育てることに有効です。

#### 例：「添田町らしい景観」の提案と認定

- ・子どもたちによる おすすめ風景
  - ・アンケート調査
- } の結果から「添田町らしい景観」の候補を出し合う

- ◎未来の添田町民に伝えていきたい風景や行事など
- ◎世代を超えて「ふるさと」として誇りに思う風景や行事など
- ◎「添田らしい景観」を大切にしている活動など

提 案

- ・八景候補として町民が提案（推薦理由を添えて）
- ・どのようなルールや活動支援が必要か示す

（担い手不足でも）みんなで考え、できることを持ち寄る会議にはかる  
**「添田町景観めぐり(仮)」で認定**

- ・一景ごとに推進部会を設置

認 定

- ・多くの関係者が納得した上で認定

#### 「添田町景観めぐり(仮)」の運営

- ・景観ガイドラインの設定
- ・フットパスやサイン、マップなどの整備
- ・観光やブランド推進と連携



#### 4) 協働の景観まちづくりを支える町民主体組織体制づくりの取り組み（提案）

町民、事業者、行政の協働による景観まちづくりを持続可能なものとするための組織体制を整備していくことが有効です。

##### ①ボランティア団体等のネットワーク形成

町民、事業者、各種団体などが様々な景観まちづくりに関わりを持てるよう、景観施策や景観事業の情報を積極的に共有しながら、各主体が景観形成や八景に関連する提案など、積極的に景観まちづくりに参加できる組織の育成や連携強化を図ることが有効です。

##### ②計画内容などの協議、調整

行政が行う景観重要建造物や樹木の指定・景観重要公共施設の設定だけでなく「添田町八景（仮）」に関連する事業の必要性について、町民・事業者・行政が協議を行いながらその方向性を定め、町民等が景観計画や歴史的風致維持向上計画に関する提案を行える仕組みづくりを行うことが有効です。

